

4.9t

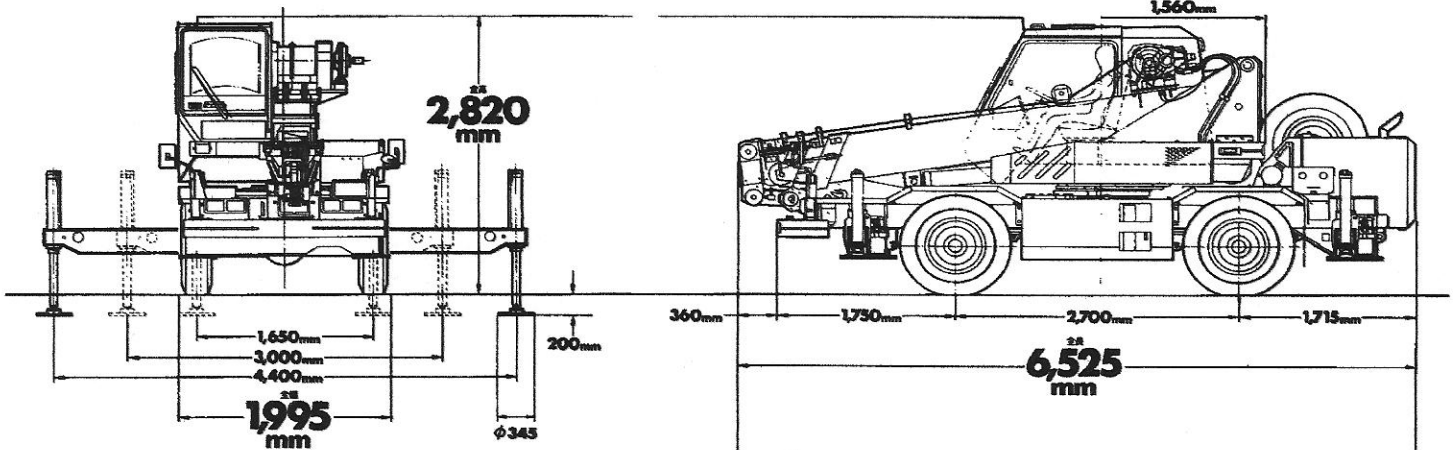
ラフタークレーン
KOBELCO
RK70M



주무한티엔씨

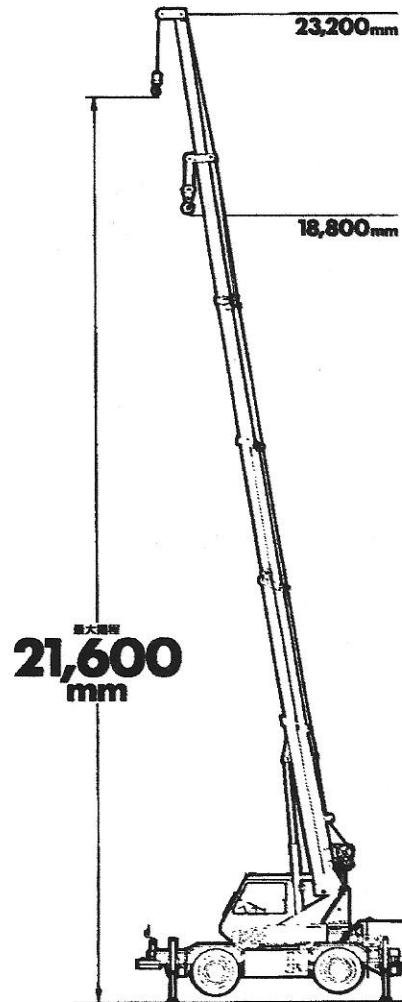
www.muhanntnc.com

■外観図

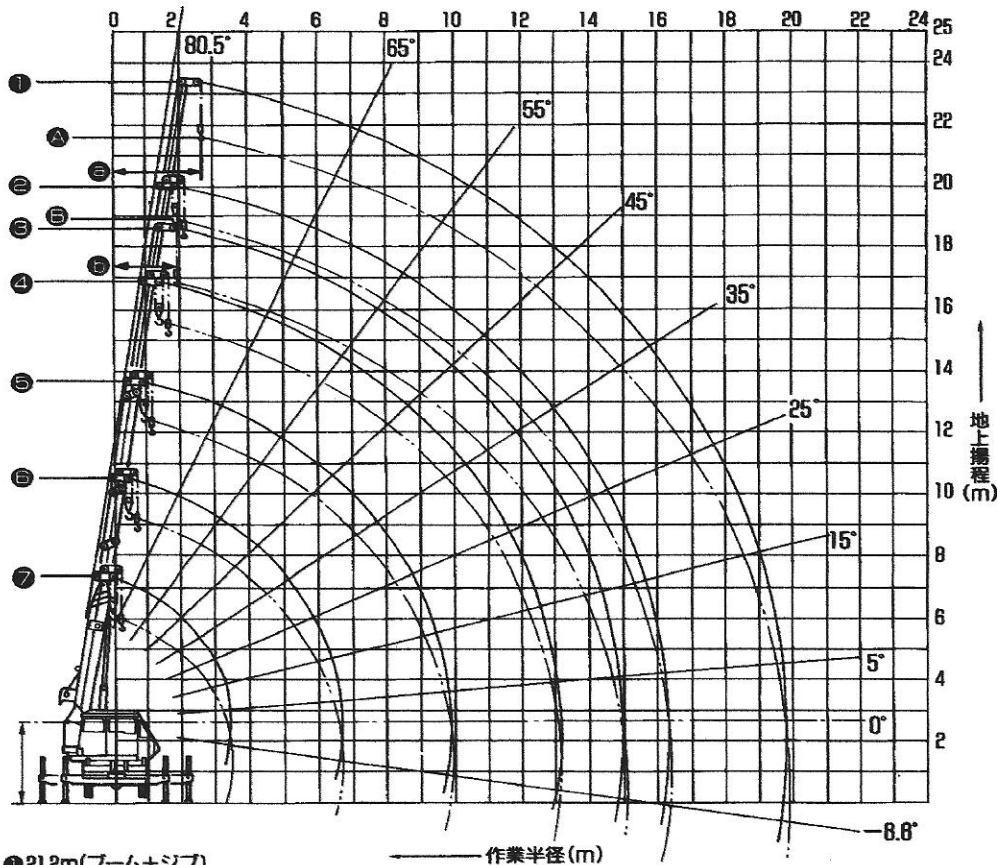


■主要諸元

●クレーン性能			
最大定格荷重 (アウトリガ最大突出/全周)	4.9mブーム	RK70	7,000kg×2.5m(6本掛)
	8.1mブーム	RK70M	4,900kg×3.5m(4本掛)
	11.3mブーム		4,900kg×3.5m(4本掛)
	14.5mブーム		4,900kg×3.5m(4本掛)
	17.7mブーム		4,000kg×4.0m(4本掛)
	17.7mブーム		4,000kg×4.0m(4本掛)
	補助シーブ(4.9mブーム~17.7mブーム)		1,400kg×8.0m(1本掛)
	16.4m(ブーム+ジブ)		1,400kg×10.0m(1本掛)
	21.2m(ブーム+ジブ)		1,400kg×8.0m(1本掛)
ブーム長さ	基本ブーム		4.9m
	最大ブーム		17.7m
ブーム+ジブ長さ(最大)			21.2m
最大地上揚程	ブーム		18.8m
	ブーム+ジブ		21.8m
最大作業半径	ブーム		18.3m
	ブーム+ジブ		19.9m
巻上ロープ速度	主巻		111m/min.(5層目)
	補助巻		104m/min.(4層目)
ブーム+ジブ伸張速度			16.3m/35.4sec.
ブーム上げ速度			-8.8~80.5/27.5sec.
旋回速度			2.3rpm
●ワイヤロープ			
主巻用			IWRC 6xWS(26)c/o 鋼線径φ10
補助巻用			IWRC 6xWS(28)c/o 鋼線径φ10
●クレーン部主要機構			
主ブーム及びジブ形式	箱形5段(ブーム)+1段(ジブ)、2-3段同時伸縮後、4-5段同時伸縮(ジブ非使用時)又は4-5段+1段同時伸縮(ジブ使用時)		
ブーム伸縮装置	油圧シリンダー及びワイヤロープ併用式		
ブーム起伏装置	油圧シリンダー1本直挿式		
巻上装置	油圧モーター駆動、1軸2ドラム、自動ブレーキ、フリーフォール付		
旋回装置	圧力補償付流量調整弁付		
アウトリガ	形式	油圧モーター駆動、自動ブレーキ付、全油圧式 H型	
	突出幅	4.4m/3.0m/1.65m	
●油圧装置			
油圧ポンプ	2連ギヤポンプ+2連ギヤポンプ		
作動油タンク容量	149Q		
●安全装置			
過負荷防止装置/過巻防止装置/水準器/玉掛けワイヤはすれ止め/油圧安全弁/ブーム伸縮保安装置/ブーム起伏保安装置/巻上保安装置/アウトリガ保安装置/旋回警告灯			
●キャリヤ			
走行駆動形式	2WD車	2輪駆動(4×2)	
	4WD車	4輪駆動(4×4)・2輪駆動(4×2)切換式	
最高走行速度		49km/h	
登坂能力	2WD車	(tanθ)0.39	
	4WD車	(tanθ)0.52	
最小回転半径		4.04m(4輪操向時)、7.3m(2輪操向時)	
アプローチ角度		20°	
デバーク角度		17°	
エンジン	型式	いすゞ 4BD1	
	種類	水冷、4サイクル、直列4気筒、直接噴射式ディーゼル	
	総排気量	3856cc	
	最高出力	115PS/3200rpm	
変速機	型式	電子制御フルオートマチックシフト(ロックアップ付)	
	変速段数	オーバードライブ付前進4段、後進1段(4WD車はH/Low切換付)	
ステアリング	形式	全油圧式パワーステアリング、遊スズ補正装置	
	モード(4種類)	ノーマル(前2輪)、クランプ(4輪)、クラブ(4輪)、リヤ(後2輪)	
ブレーキ	主ブレーキ	パキウムサーボ式ディスク、4輪制動、トルコンロックアップ運動操縦ブレーキ付	
	駐車ブレーキ	推進制動内部抵当式	
タイヤ		10.00-20-14PR(STD) 10.00R20-14PR(オプション)	
燃料タンク容量		200Q	
車両総重量	2WD車	全重量	10535kg
		前軸重	4960kg
	4WD車	後軸重	5575kg
		全重量	10785kg
Aタイプ	Bタイプ	全重量	5040kg
		前軸重	5180kg
Aタイプ	Bタイプ	全重量	5615kg
		前軸重	5795kg

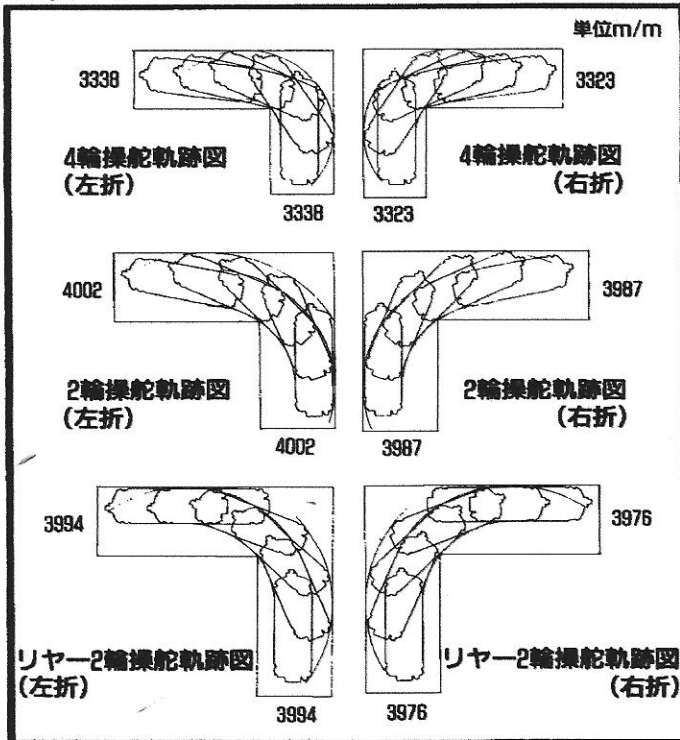


■作動範囲図



- 21.2m (ブーム+ジブ)
 - 17.7m ブーム
 - 16.4m (ブーム+ジブ)
 - 14.5m ブーム
 - 11.3m ブーム
 - 8.1m ブーム
 - 4.9m ブーム
 - 最大揚程 21.6m (ブーム+ジブ)
 - 最大揚程 18.8m (ブームのみ)
 - 最小作業半径 2.9m (最長ブーム+ジブ時)
 - 最小作業半径 2.1m (最長ブーム時)
- (注)
本図はブームおよびジブのたわみを含んでいません。

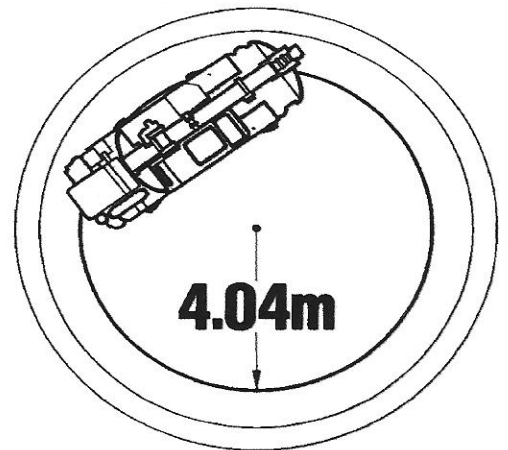
■最小直角通路幅



2tトラックを凌ぐ機動性・走行性。 (直角通路幅3.34m)

小さな最小回転半径(4.04m-4ステ時)が狭い現場で大きな機動力を発揮。中型乗用車をも優に凌ぐ小回り性能。

クランプ(4輪)ステアリングによる最小回転半径は、実に4.04m。このクラスのトラッククレーンを1.5m以上、2tダンプ、3tトラッククレーンをそれぞれ1m以上、中型乗用車を1m弱下回る数値です。狭い現場でも頼もしい機動力を発揮します。

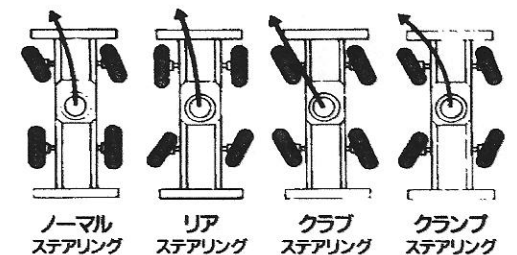


工場の入口や高架、陸橋下も 通過可能なコンパクトサイズ。

全高2.82m、全幅1.995m、全長6.53mと超コンパクトなボディなので、工場入口への進入がラクラク行えます。もちろん、高架や陸橋、山門や校舎の渡り廊下もスムーズに通過。また、現場などでの駐車スペースも少なくすみ、仕事の領域がますます広がります。

状況に応じて自由に選べる 4通りのステアリングモード。

ステアリングモードは、ノーマル(前2輪)、リア(後2輪)、クラブ(カニ)、クランプ(4輪)の4種類。状況に応じてスイッチひとつで自由に選択できます。これにより、今までトラッククレーンでは入りこめなかった狭い路地や建屋内にもラクに進入できます。



■定格総荷重

1.アウトリガ最大(4.4m)張出[全周]

()内はRK70型の値です。単位:Ton

ブーム長さ 作業半径	主ブーム					ジブ	
	4.9m	8.1m	11.3m	14.5m	17.7m	16.4m	21.2m
1.0m	4.90(7.00)	4.90					
1.5m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00			
2.0m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00		1.40	
2.5m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	
3.0m	4.90(6.10)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	1.40
3.5m	4.90(5.30)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	1.40
4.0m		4.50	4.50	4.00	4.00	1.40	1.40
4.5m		3.85	3.87	3.50	3.50	1.40	1.40
5.0m		3.33	3.37	3.11	3.13	1.40	1.40
5.5m		2.95	2.97	2.77	2.82	1.40	1.40
6.0m		2.62	2.65	2.50	2.56	1.40	1.40
7.0m		2.26(6.7m)	2.14	2.07	2.15	1.40	1.40
8.0m			1.77	1.75	1.84	1.40	1.40
9.0m			1.48	1.50	1.60	1.40	1.23
10.0m			1.25(9.9m)	1.30	1.40	1.40	1.09
11.0m				1.14	1.25	1.20	0.98
12.0m				0.96	1.07	1.02	0.89
13.0m				0.78	0.88	0.85	0.82
14.0m				0.77(13.1m)	0.73	0.70	0.75
15.0m					0.60	0.59	0.68
16.0m					0.49		0.64
17.0m					0.46(16.3m)		0.57
18.0m							0.50
19.0m							0.41
20.0m							0.35(19.9m)
危険角度	—	—	—	—	—	—	—

2.アウトリガ中間(3.0m)張出[側方]

ブーム長さ 作業半径	主ブーム					ジブ	
	4.9m	8.1m	11.3m	14.5m	17.7m	16.4m	21.2m
1.0m	4.90(7.00)	4.90					
1.5m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00			
2.0m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00		1.40	
2.5m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	
3.0m	4.90(6.10)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	1.40
3.5m	4.90(5.30)	4.90	4.90	4.00	4.00	1.40	1.40
4.0m		3.78	3.80	4.00	4.00	1.40	1.40
4.5m		3.07	3.00	3.30	3.15	1.40	1.40
5.0m		2.48	2.50	2.75	2.64	1.40	1.40
5.5m		2.05	2.10	2.28	2.24	1.40	1.40
6.0m		1.73	1.75	1.97	1.97	1.40	1.40
7.0m		1.46(6.7m)	1.20	1.42	1.50	1.40	1.40
8.0m			0.85	1.10	1.14	1.14	1.34
9.0m			0.60	0.89	0.91	0.91	1.06
10.0m			0.45(9.9m)	0.61	0.71	0.70	0.87
11.0m				0.43	0.54	0.54	0.71
12.0m				0.29	0.39	0.39	0.58
13.0m				0.18	0.27	0.27	0.46
14.0m				0.17(13.1m)	0.18	0.17	0.36
15.0m							0.27
16.0m							0.20
17.0m							0.13
18.0m							
危険角度	—	—	—	—	30°	21°	30°

3.アウトリガ最小(1.65m)張出[側方]

ブーム長さ 作業半径	主ブーム					ジブ	
	4.9m	8.1m	11.3m	14.5m	17.7m	16.4m	21.2m
1.0m	4.90(7.00)	4.90					
1.5m	4.90(7.00)	4.90	4.90	4.00			
2.0m	4.90(5.40)	4.90	4.90	4.00		1.40	
2.5m	3.54	3.27	3.25	3.45	4.00	1.40	
3.0m	2.60	2.40	2.35	2.50	2.97	1.40	1.40
3.5m	2.01	1.81	1.80	1.90	2.27	1.40	1.40
4.0m		1.38	1.35	1.53	1.79	1.40	1.40
4.5m		1.10	1.05	1.25	1.44	1.40	1.40
5.0m		0.87	0.85	1.00	1.16	1.19	1.37
5.5m		0.67	0.63	0.80	0.93	0.96	1.15
6.0m		0.49	0.45	0.60	0.75	0.77	0.97
7.0m		0.29(6.7m)	0.18	0.36	0.47	0.48	0.68
8.0m				0.16	0.26	0.26	0.47
9.0m					0.11	0.12	0.31
10.0m							0.18
危険角度	—	—	44°	51°	55°	52°	58°

4.走行吊り[前方吊りのみ]

ブーム長さ 作業半径	主ブーム
	8.1m
3.5m	1.00
4.0m	1.00
4.5m	1.00
5.0m	1.00

【注意事項】

アウトリガ使用時

■ 定格総荷重は、水平堅土上でのもので、フック、玉掛けワイヤ、等のつり具の重量を含みます。太線の上側は機械の強度によって定められ、下側は機械の安定によって定められています。

	RK70M(主)	RK70(主)	共通(補)
フックの種類	4.9トン	7トン	1.4トン
重量	64kg	68kg	18kg

■ 作業半径はブームおよびジブのたわみを含んだ実際の値に基づいています。

■ アウトリガの張出状態によって、側方域での吊り上げ性能は異なります。従って、各々の張出状態における定格総荷重表に従って作業を行ってください。

■ ブームおよびジブの長さが増える場合には、規定の長さ、1段上のブームのいずれか小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。

■ ジブを伸長したままでブーム作業を行う場合は、定格総荷重よりつり具等の重量のほかにジブ全伸時は180kg、ジブ半伸時は150kgを差し引いてください。

■ 補助シーブの定格総荷重は、主ブームの定格総荷重から20kgを差し引いた値で、かつ限度は1.4tonです。

■ 自由降下作業は原則としてフックのみを降下するときを使用しますが、やむなくつり荷を自由降下する場合は、定格総荷重の1/5までを限度とし、急激なブレーキ操作は絶対にさけて下さい。

■ フック巻掛本数

()はRK70

ブーム長さ	使用フック	巻掛本数
4.9m	4.9トン(7トン)	4(6)
8.1m		4
11.3m		4
14.5m		4
17.7m		4
ジブ/補助シーブ	1.4トン	1

走行吊り時

■ 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤの空気圧が規定圧の場合で、フックその他のつり具の重量を含みます。

	RK70M	RK70
フックの種類	4.9トン	7トン
重量	64kg	68kg

タイヤ空気圧(kg/cm²)

タイヤサイズ	前輪	後輪
10.00-20-14PR(標準)	6.75	6.75
10.00R20-14PR(OPT)	7.25	7.25

■ 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいています。

■ 側方吊りは、できません。前方吊りのみで作業を行ってください。

■ ジブ作業、自由降下作業は行わないで下さい。

■ 走行吊りは、荷が振れないように地面近くに保持し、速度を2km/h以下にて行ってください。

■ 走行吊り中には、クレーン作業は行わないでください。